

茅ヶ崎市保健所管内感染症情報

令和7年第34週（令和7年8月18日～令和7年8月24日）

【保健所からのお知らせ】

○国内で麻疹（はしか）患者の発生が確認されています。

麻疹ウイルスは感染力が強く、空気感染するので、手洗い、マスクのみで予防できません。感染すると10～12日の潜伏期間を経て、発熱、せき、鼻水など風邪のような症状が現れ、2～3日発熱が続いた後に、39度以上の高熱と全身に赤い発疹が出ます。

麻疹と思われる症状が見られたら、必ず事前に医療機関に連絡し、麻疹の疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。受診時は、周囲への感染を防ぐために、公共交通機関の利用を避けてください。

予防には予防接種が最も有効です。我が国では、1歳時及び5歳時（小学校入学前の1年間）に定期接種として麻疹の予防接種を行っています。ご自身の予防接種歴をご確認いただき、まだ接種されていない場合は、麻疹風しん混合ワクチン（MRワクチン）の接種をご検討ください。

○新型コロナウイルス感染症にご注意ください。

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、咳、鼻水、咽頭痛、関節痛等の一般的な風邪症状に加え、嗅覚・味覚異常などがあります。

感染経路は、咳やくしゃみ、会話等で排出される飛沫感染やエアロゾルと呼ばれる更に小さな状態の粒子を吸入するか、目、鼻、口に直接的に接触することにより感染します。物や指についたウイルスが目、鼻、口に接触することで感染することもあります。

特に、高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まるため、注意が必要です。予防には、換気、3密（密接場面・密集場所・密閉空間）回避、状況に応じたマスクの着用、石けんを使った手洗い、アルコール製剤を使った手指消毒が有効です。

○百日咳にご注意ください。（詳しくは下記リンクまたはQRコードへ）

百日咳

<https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/kenko/1022933/1064741.html>



【全数把握対象疾患】

	診断（第34週）（件数）	累計（令和7年第1週以降）（件数）
一類感染症		
二類感染症		結核(15)
三類感染症		
四類感染症		レジオネラ症(1)
五類感染症	百日咳(4)	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(3)、梅毒(13)、播種性クリプトコックス症(1)、百日咳(91)

【定点把握対象疾患】

一休診等により報告なし（定点当たり報告患者数を算出するための分母から除かれます）

	医療機関	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
小児科	A	2	2	0	0	2	5	0	3	2	0	1	0
	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	C												
	D	3	7	1	0	3	5	0	0	2	1	1	0
内科	E	1	23										
	F	1	23										
	G	0	7										
合計		7	62	1	0	5	10	0	3	4	2	2	0
定点当たり		1.00	7.83	0.33	0	1.67	3.33	0	1.00	1.33	0.67	0.67	0

	医療機関	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
眼科	H	0	0
	I	0	0
合計		0	0
定点当たり		0	0

茅ヶ崎市保健所管内における上位3疾患

	疾患名	今週	先週
1	新型コロナウイルス感染症	62	27
2	感染性胃腸炎	10	10
3	インフルエンザ	7	0

【急性呼吸器感染症（ARI）】

	医療機関	急性呼吸器感染症
小児科	A	139
	B	23
	C	
	D	90
内科	E	63
	F	23
	G	7
合計		345
定点当たり		57.50

茅ヶ崎市保健所保健予防課

【最近4週間の推移】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数

	疾病名	31週	32週	33週	34週	前週比
小児科	定点医療機関数	4	4	4	3	
	RSウイルス感染症	1	1	1	1	↑
		0.25	0.25	0.25	0.33	
	咽頭結膜熱	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	A群溶結性レンサ球菌咽頭炎	4	7	4	5	↑
		1.00	1.75	1.00	1.67	
	感染性胃腸炎	29	6	10	10	↑
		7.25	1.50	2.50	3.33	
	水痘	1	2	0	0	→
		0.25	0.50	0	0	
	手足口病	0	3	0	3	↑
		0	0.75	0	1	
	伝染性紅斑	8	5	1	4	↑
		2.00	1.25	0.25	1.33	
	突発性発しん	3	2	1	2	↑
		0.75	0.50	0.25	0.67	
	ヘルパンギーナ	6	10	5	2	↓
		1.50	2.50	1.25	0.67	
	流行性耳下腺炎	0	1	0	0	→
		0	0.25	0	0	
眼科 定点	定点医療機関数	2	2	1	2	
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	→
		0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	0	1	2	0	↓
		0	0.50	2.00	0	
内科 (ARI 定点)	定点医療機関数	7	6	5	6	
	インフルエンザ	0	2	0	7	↑
		0	0.33	0	1.00	
	新型コロナウイルス感染症	53	47	27	62	↑
		7.57	7.83	5.40	7.83	
	急性呼吸器感染症 (ARI)	484	462	287	345	↑
		69.14	77	57.40	57.50	

※急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例
 ※前週比は、定点当たりの報告数を基に作成しています、





